令和　８　年　第8回　久米島町子ども議会

令和8年11月5日

令和8年　第8回　久米島町子ども議会　一般質問通告一覧表

質問順	質　問　者	質　問　事　項	質　問　日　程
1	内間（ウチマ）　莉々愛（リリア）	街灯の設置について	11月5日
2	上原（ウエハラ）　正吏（ショウリ）	学校のエアコンの取り付けについて	
3	比嘉（ヒガ）　希（ノゾミ）	バスの便数及び時刻表の改善について	
4	國吉（クニヨシ）　甚希（ジンキ）	ホタルドームについて	
5	玉城（タマシロ）　千歳（チトセ）	トレーニング施設の設置について	
6	中島（ナカジマ）　和莉（アイリ）	離島割引について	
7	吉本（ヨシモト）　野乃花（ノノカ）	バス停について	
8	仲村（ナカムラ）　花弥（カヤ）	ビーチの更衣室について	
9	寺井（テライ）　孝太（コウタ）	体育館へのクーラーの設置について	
10	木下（キノシタ）　さら	ラーケーションについて	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	内間　莉々愛	街灯の設置について	久米島の街灯について質問します。 学校の部活動や習い事の帰りなど、夜遅くに一人で帰宅することがあります。しかし、街灯が少なく、サトウキビ畑の前など真っ暗な場所を通ることがあります。そのため、ハブに遭遇したり、不審者に後ろから追われたりするのではないかと不安に感じたり実際に何度か暗くて転びそうになったことがあります。親が仕事中の場合は迎えを頼むことも難しく、子どもが安心して一人で帰れる環境を整えることは、とても大切だと思います。 そこで、久米島町全体の街灯を一度に倍にすることが難しい場合でも、まずは子どもたちがよく通る道や、特に暗くて危険な場所から優先的に街灯を増やすことはできないでしょうか。 危険な場所を調査した上で、少しずつでも街灯を増やしていく計画を作っていただけないでしょうか。	町長	防犯灯の整備は、夜間の道路の暗さによる転倒などの事故を防ぐとともに、犯罪やハブなどの危険生物への対策にもつながります。特に、保護者が仕事などで迎えに行くことが難しい場合には、子どもたちが安心して帰宅できる環境を整えることが大切であると考えています。 設置に当たっては、電気料や修繕費など将来にわたる維持管理費も含めて検討いたします。 今後は、危険箇所の把握、現地調査、優先順位の整理を行い、財政状況や関係機関との調整を踏まえながら、段階的な整備計画の作成を検討してまいります。 子どもたちが安心して通学・帰宅できる環境を整えるため、学校や地域の皆様から寄せられる情報を参考にしながら、できるところから取り組んでまいります。	建設課

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			（再質問） 段階的な整備計画を作成するとの答弁をいただきました。しかし、計画を作成するだけでは、いつ、どこに街灯が設置されるのかが分からず、暗い道を通る子どもたちの不安がいつ解消されるのかも分かりません。また、段階的に整備するのであれば、危険な場所をどのような基準で優先するのかも重要だと思います。 そこで、3点再質問します。 1点目は、整備計画をいつまでに作成し、街灯の設置をいつから始める予定なのか、具体的な時期についてです。 2点目は、設置場所の優先順位をどのような基準で決めるのか、特に、子どもたちが通学や帰宅で利用する暗い道路を優先的に整備する考えがあるのかについてです。 3点目は、計画に沿って整備されるまでの間も、特に暗くて危険な場所については、優先的な設置など、安全を確保するための対策を行う考えがあるのかについてです。 子どもたちが安心して通行できる環境を、具体的に実現していただきたいと思います。		1点目の整備計画については、危険箇所を把握し早期の策定に努めます。また、計画に基づく設置については、必要な現地確認や関係者との調整を行った上で、早期の着手に努めます。なお、具体的な時期については、予算、施工条件、電源の確保などを確認した上で判します。 2点目の優先順位については、夜間の通行状況、道路の幅員や見通し、過去の事故・犯罪等の状況、地域からの要望などを総合的に確認して決定します。特に、子どもたちが通学や帰宅で利用する道路で、暗く、見通しが悪いなど危険性が高い場所については、優先的に検討します。 3点目の計画策定までの安全対策については、現地を確認し可能な対策を早期に検討します。街灯の設置が直ちに難しい場合には、注意喚起、地域や学校、関係機関との情報共有など、実施可能な対策を講じます。また、夜間の通行に当たっては、携帯用ライトを活用するなど、一人ひとりが自分の身を守るための備えも重要と考えています。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	上原　正吏	学校のエアコンの取り付けについて	先日久米島町のHPを拝見した時に教育費が９億３，９３３万円とありました。教育費はスポーツ、学校教育、子どもたちの学びや成長にも使われていると思います。その中で学校のエアコンのことについての話です。エアコンがついていない教室があるので暑い時期に集中しにくいことがあります。エアコンが設置していない教室に設置してほしいのですが、今後設置する予定はありますか。また設置する場合いつ頃になるか教えてください。	教育長	児童生徒が毎日授業を受ける教室は、熱中症対策も含め授業に集中できる快適な環境整備が必要です。これまで、「普通教室」への設置が最優先され、現在は美術室などの「特別教室」を順次整備しているところですが、具体的な時期については、校舎などの老朽化対策と併せて取り組みたいと思います。	教育課
			（再質問） 比屋定小学校、旧久米島中学校の校舎の空き教室からエアコンを持ってくることは可能ですか。お金を浮かすことができると思います。		現在ある備品を有効活用するご提案はコスト面からも経済的であると考えます。空き教室のエアコンを移設可能か調査し、エアコンが設置されていない教室へ早めに設置できるよう努めてまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	比嘉　希	バスの便数及び時刻表の改善について	空港線とバスの時刻表について質問します。 私は球美中の生徒として町営バスを利用していますがバスの運行時刻ですこし困っていることがあります。 現在、水曜日は学校が午後3時40分頃に終わりますが、午後2時頃のバスには間に合わず、午後5時30分頃となるため、生徒は約2時間待たなければなりません。部活動終了後についてはスクールバスが運行しているため問題はありませんが、部活動に参加しない生徒にとっては、学校終了後に帰宅すまでの待ち時間が長いことが課題だと考えます。また、以前は午後3時頃に運行していたバスがありましたが、現在はその便がなくなっています。 そこで、以前の便がなくなった理由と、現在の水曜日の午後3時30分頃から4時頃の時間帯にバスを利用する生徒の需要について伺いたいです。その上で、水曜日限定で学校終了後の時間帯にバスを1便運行することや、まずは試験的に運用して利用状況を調査することができないか、町の考えを伺います。 さらに、バス停に設置されているバスの時刻表についても、実際の運行状況が分かりにくい場合があると感じています。	町長	現在の運行ダイヤは、日々の通学、病院の通院、買い物、飛行機及びフェリーの利用の要望に応えながら、法規制にも対応し安心安全な運行ができるよう改正しております。 現在、バス運転手や車両台数の不足などの課題もあり、午後3時30分から午後4時までの時間帯に対応する空港線の運行は試験運行も含めて厳しい状況となっています。 今後も町民の声を汲み取りつつ、地域の実情に即した運用を目指し、住民の安心と利便性の向上を最優先に工夫が出来ないか検討してまいります。 空港線の時刻表は、飛行機の到着にあわせてダイヤを設定しているため、年に数回、時刻表の変更が生じております。 飛行機のダイヤに変更があった場合は、速やかに空港線の時刻表を修正し、バス停に掲示できるよう努めてまいります。 また現在は町営バスの位置情報システムを導入しており、予定しているバスの状況が分かるようになっております。位置情報システムの周知の徹底及び機能の強化・拡充を図ってまいります。	商工観光課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			（再質問） 　バスの運転手不足や車両の確保が非常に厳しい現状については、島全体の大きな課題として理解しました。 　しかし、部活動の帰りや休日など、決まった時間帯に移動手段がなくて困っている中学生や島民がいることも事実です。そこで、従来の「路線バスを増便する」という方法ではなく、「ワゴン車やジャンボタクシーなどを活用した予約型乗合タクシー」の導入について提案と質問をします。 他の離島では、大型二種免許が必要な大型バスを増やす代わりに、普通二種免許で運転できるワゴン車を使い、利用者がいる時だけ予約して運行する仕組みを取り入れている地域があります。この方法であれば、運転手確保のハードルを下げつつ、無駄な空所運行を減らし、必要な時間帯にピンポイントで移動手段を提供できる利点があります。 　そこで、商工観光課課長に伺います。路線バスの増便が難しいのであれば、中学生の放課後や休日の利用が多い時間帯や路線に限定してでも、町内タクシー事業者等と連携した「予約型乗合タクシー」の試験運行や実証実験を検討することはできないでしょうか。 　また、現在、バス停に貼られているバスの発着の時間と、実際のバスの発着の時間が大きくずれています。そのため、時刻表を見ながらいつまでも来ないバスを待っている方を見かけることがあります。正しいバスの発着に合わせた時刻表にしてください。		議員のおっしゃる「予約型乗合タクシー」とはデマンド型タクシーといわれる交通機関であり、バスとタクシー両方の良いところを兼ね合わせた公共交通機関と認識しております。 　町内のタクシー会社とも連携し、島民や来島者が不自由なく移動できる交通体系を目指してまいります。 バス停の時刻表については、現在、空港線は飛行機の発着時間にあわせて運行しております。飛行機が年に数回離発着時刻の変更があり、その都度、時刻表も修正しバス停に掲示している状況のため、バス停に掲示する時刻表の更新のタイミングやミスにより、このようなエラーが発生していると考えられます。 　今後はそのような事がないように、早めの時刻表の修正、見やすい時刻表の作成について取り組んでまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			実際に、観光客が午後3時ごろのバスが運行していると思い、バス停で長時間待っていたことがありました。住民だけでなく、久米島を訪れる観光客にとっても、正確でわかりやすい時刻表が必要だと考えます。 そこで、現在設置されている時刻表が最新の運行状況を正確に反映しているのか、また、利用者が一目で運行時間を確認できるよう、時刻表の表示方法を改善することができないか、町の考えを伺います。			
2	國吉　甚希	ホタルドームについて	ホタルドームのタータンについて質問します。先日、夏期陸上大会の練習の為に、ホタルドームのタータンを利用していた時にカーブのところのタータンがはがれており、滑ったりして転んだら危険だと思うところがありました。利用する人が安全に使えるように、タータンがはがれている部分の修繕をぜひ検討していただきたいです。宜しくお願いします。	町長	ホタルドーム前にある多目的グランドの全天候型舗装(タータン)につきましては、7月の台風の影響により大きく剥がれた為、現在修繕の依頼をしているところです。 修繕については、剥がれている箇所やひび割れの箇所を張替える予定となっており、安全に利用できるよう早急に取組んでまいります。	環境保全課
			(再質問) 修繕する予定とのことですが、具体的にいつ頃までに修繕を完了する予定ですか。また、修繕が終わるまでの安全対策はどのように行いますか。		ホタルドーム前の多目的グラウンドの全天候型舗装につきましては、現在修繕を依頼しており、現時点では施工期間などはこれからの調整であるため、完了時期はまだ確定しておりませんが、できる限り早期に対応してまいります。 なお、修繕が完了するまでの間は、注意表示やカラーコーンの設置などにより安全対策を実施し、利用者の安全確保に努めてまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	玉城　千歳	トレーニング施設の設置について	私は、部活動後や部活動が休みの日に自主練習をしたい中高生が、利用できる場所や時間が限られていることについて質問します。 現在、久米島町では、中高生が部活動以外でも自主練習できる体育施設や時間は十分に確保されていません。 また、部活動後でも利用できる時間を増やしたり、ランニングや球技、トレーニングなどができる自主練習スペースや施設を新しく整備したりする考えはありますか。中高生が「もっと練習したい」と思ったときに、安心して練習できる環境をつくるため、今後どのような取り組みを考えているのか伺います。	教育長	中高生の皆さんが、練習に意欲的に取り組む向上心を持つことはとても素晴らしいことです。 本町においては令和７年度に「部活動等のあり方に関する方針」を定め、適切な活動時間・休養日の設定、生徒の活動機会の創出、人権意識の高揚などを柱として取り組んでいます。 その中には、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ること、できるだけ短時間に合理的かつ効率的・効果的な活動を部活動の中で取り組むことを推進しています。 本質問では、中高生が部活動以外に自主練習できる充実した施設環境を望んでいることと思います。ランニングや球技を含むトレーニング施設を新しく整備することについては費用面で課題がありますが、町内にある多目的グラウンドなどで工夫した練習や、ホタルドームでは新しい運動器具も追加しておりますので、既存施設でどのような工夫ができるか有効的に活用していただき、利用時間や利用方法の面では中高生を含め利用者ニーズに応じた環境改善に努めたいと思います。	環境保全課 教育課

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			（再質問） 　既存の施設を充実させるという考えは分かります。しかし、現在ある施設は球美中学校から距離が遠く、部活動後に利用したくても、移動手段がない生徒にとっては簡単に利用できないという問題があります。また、既存の施設を充実させても、利用できる時間や人数には限界があり、他の団体が使用している場合には、自分たちが練習したい時間に利用できないことも多いです。そのため、既存の施設を整備するだけでは、中高生が自由にスポーツに取り組める環境を十分に整えることは難しいと思います。 　私は、トレーニング施設は、ただ存在するだけでなく、中高生が実際に利用しやすい場所にあることが重要だと考えます。特に、球美中学校の近くに新しい施設があれば、部活動後でも移動の負担が少なく、自主練習に取り組みやすくなります。そこで、国の補助金や沖縄振興特別推進交付金などを活用し、町の負担を抑えながら、小規模でも新しいトレーニング施設を建設することはできないでしょうか。既存の施設の充実だけでなく、中高生が本当に利用しやすい場所に新しい施設をつくることについて、町の考えをお聞かせください。		中高生が安心して自主練習できる環境づくりは、大変重要であると考えております。 　ご指摘のとおり、既存施設の充実だけでは、学校からの距離や移動手段、利用時間、利用団体との調整などの面で、十分に対応できない課題があることは認識しております。 　新たなトレーニング施設の整備については、国の補助制度や沖縄振興特別推進交付金などの活用可能性も含め、町の財政負担を抑えながら実施できるかどうかを調査してまいります。 　その上で、球美中学校周辺を含め、中高生が利用しやすい場所への小規模な練習環境の整備が可能かどうか、必要性や利用見込み、管理運営の方法も含めて検討してまいります。 　直ちに建設を実施するという段階ではありませんが、既存施設の活用だけでなく、利用しやすい場所に新たな練習環境を確保するという視点を持って、今後の環境改善に取り組んでまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	中島　和莉	離島割引について	久米島町の離島割引について質問します。現在は、離島割引対象者は久米島町に住民登録を行っている人、父母が住民登録を行っており、過去に住民登録を行っている者とありました。ですが、対象者を父母が住民登録を行っている者に拡大してほしいです。対象者を拡大することで、長期休みや本町の行事の時に帰省を促したり、次世代の久米島町への愛着心向上、少子高齢化対策にもつながると思います。本町としても帰省の負担軽減や久米島町を盛り上げるため検討お願いします。	町長	本事業は通院、通学、買い物、仕事、行政手続きなど、離島住民にとって必要不可欠な島外への移動コストの負担を軽減するという目的があるため、島外での住民登録や居住している方は対象外となっています。 長期休暇や行事等、事前に本町への来島時期がわかる場合は、早めに航空券等を確保することで割安な料金で久米島への帰省が可能となります。 またフェリーや5月に就航した高速船など、来島する交通手段の選択肢も増えております。 本町への愛着心の向上や本町を盛り上げるための交流人口の拡大については、関係機関と連携して引き続き検討を重ねて参ります。	商工観光課
			（再質問） 早めの航空券の確保をというご回答をいたただいたので、私も気になって調べてみました。直近の航空券は１万円台と高いので半年後のシーズン外の値段を調べてみました。６，０００円と離島料金を使った時と比べてあまり差がありません。ですが、春休みや夏休みなどの長期休みなどではシーズン外の約２倍の値段となっています。なので、シーズン中に帰省する人は早く航空券を確保しても料金が高くなります。少しでも島外の人が帰ってきやすい町にするためにご検討、宜しくお願いします。		現在、利用できる離島住民割引制度の周知に取組むとともに、島外居住者への支援制度等も含め、今後は、国や県の制度の活用や新たな支援策の可能性を関係機関と連携しながら検討してまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	吉本　野乃花	バス停について	地域のバス停について質問します。現在、地域のバス停には雨や強い日差しを避けるための屋根がなかったり、座って待てるベンチが少なかったりします。特に、山城スーパーなど学生の下校時に利用するバス停や、商店の近くなど地域の人が多く利用するバス停では、長時間待つこともあります。そこで、利用者が多いバス停を中心に、屋根やベンチを設置していただくことはできないでしょうか。急な雨や夏の強い日差しによって、体調を崩してしまう人が出る可能性もあるため、より安心して利用できるバス停にしてほしいと考えています。	町長	町内のバス停は90箇所以上あり、上屋設置箇所が12箇所、店舗等の軒下を利用できる所が8箇所となっております。 建物や場所等の現況により設置困難な個所が約50箇所ございます。残りの20箇所ほどのバス停のうち、利用率の高いバス停や用地確保等の諸条件の整った場所から上屋やベンチの設置を実施できるよう取り組んで参ります。 今後も利用者の意見を取り入れながら、安心して利用できるバス停を目指して参ります。	商工観光課
			（再質問） ご回答ありがとうございます。 設置が難しい場所があることは分かりますが、利用者が安全で快適に待てる場所に工夫することも大切だと思います。また、山城スーパー前など、利用者の多いバス停を屋根だけの上屋ではなく、雨風や日差しを防げる三面囲いタイプのバス停にし、より多くの人が座って待てるように、もっと大人数が利用できるベンチも設置してほしいです。今後、どの地域・どのバス停から整備を進めていく予定なのか、また、現在バスが運行していない真謝や宇根などの高齢者の多い地域でもバスの運行を再開する予定があるかも教えてください。もし検討いただけるのであれば、いつから始めるのかまで示してほしいです。「検討します」という回答だけでは、この島は変わっていかないと思います。		雨風や日差しが防げるようなバス停の工夫に取り組んでまいります。 バス停の整備については、まずは利用者が多いと思われる「イーフ情報プラザ前」から進めていきたいと考えております。 バスの路線改定により、ご不便をおかけしているところもあるかと思います。地域の利用者の方々との意見交換等を実施し、今年度内には見通しを立てたいと考えております。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	仲村　花弥	ビーチの更衣室について	私はビーチの更衣室の建て替えを提案します。久米島町のビーチの更衣室は海から上がってきた人が使うには少し不便と感じる所があります。まず「更衣室」単体の部屋がほぼない所です。地元民も観光客も使いやすいように単体の部屋が必要だと思います。次に古さが目立つところです。ビーチの管理人がいなかったら、砂が溜まっていたり、建物が古かったりと快適とは言えない環境と思います。久米島の歳出に関連付けると土木費の道路や公園などの維持管理に使うお金に繋がると思います。更衣室を建て替えることで地元民も観光客も快適に更衣室の使用ができると思います。	町長	シンリ浜にあるトイレ・シャワー室については、更衣室が単体の部屋として設置されていないのが現状となっており、議員を含め更衣室が無いことで不便に感じた方もおられると思います。 早急な対応といたしましては、シャワー室の一室ごとにシャワーカーテンを取付け、衣類などが置ける荷物かごを設置するなど、更衣室を兼ねて利用できるように改善してまいります。 施設の古さもありますが、建物の状況に併せて修繕しつつ、建て替えが必要な時期を検討してまいります。 今後においても、利用者の施設に関する声や意見を反映しながら利用しやすい施設として運営できるよう努めてまいります。	環境保全課
			（再質問） ご回答ありがとうございます。 久米島のビーチは更衣室やロッカーの設備がされていないビーチが多く、シャワーに関しては、温水が出る施設があまりありません。そのためシャワー室やトイレで着替えたり、荷物を安全に保管出来る環境がなく不便に感じている人もいると考えます。そこで私は、瀬底ビーチを１つの例としてあげます。瀬底ビーチには更衣室があり、温水シャワーは５００円で５分間、ロッカーは３００円で利用できるようになっています。久米島でもすべてのビーチを一斉に整備するのではなく、まずは利用者の多いビーチから更衣室や温水シャワー、ロッカーなどの整備をしていくことはできないでしょうか。また瀬底ビーチのように利用料を設定し、その利用料の一部を施設の維持管理に使う仕組みをつくることは可能でしょうか。		久米島のビーチにつきましては、観光客だけでなく地元の方にも気軽に利用できるようシャワー室を無料で提供しておりますが、ご指摘のとおり、更衣室、温水シャワー、ロッカーなどの設備が十分ではありません。 利用者にとっては更衣室や荷物の安全管理に不便さがあることは認識しているところであり、利用者の多いビーチについては、観光客だけでなく町民の利便性向上の観点からも、必要な設備のあり方を検討していくことは重要であると考えております。 ご提案のように、すべてのビーチを一斉に整備するのではなく、利用者の多いビーチから優先して整備を検討する方法は、現実的な進め方の一つであると考えております。 まずは利用状況や必要性、維持管理費用などを踏まえながら、更衣室、温水シャワー、ロッカーの整備のあり方を調査し、優先順位を整理してまいります。 久米島においても、利用者負担と管理運営のバランスを考えながら、有料設備として導入できるかどうかはこれからの検討課題になると考えております。 今後におきましても、利用者の声を伺いながら、快適で利用しやすいビーチ環境の整備に努めてまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	寺井　孝太	体育館へのクーラーの設置について	私は、球美中学校の体育館で、夏の暑さによる問題に気付きました。体育館にはエアコンがなく、夏場は立っているだけでも汗をかくほど暑く感じます。体育の授業や部活動では運動をするため、暑さによる体調不良や熱中症が心配です。また、球美中学校体育館は町の指定避難所でもあるため、この問題は生徒だけでなく、災害時に避難する町民の安全にも関わると考えました。 この問題を確かめるため、過去の久米島町子ども議会の資料、久米島町の指定避難所資料、文部科学省の体育館空調の設置状況や支援制度について調べました。また、同じ離島自治体である鹿児島県和泊町の中学校体育館の空調整備についても調べました。調査した結果、球美中学校体育館は久米島町の指定避難所で、想定収容人数は349人であることが分かりました。また、文部科学省には避難所となる学校体育館の空調整備を進めるための支援制度があり、空調設備だけでなく、断熱性能や電源設備なども含めて計画することが重要だと分かりました。 久米島町ではこれまでも学校の暑さ対策が進められており、令和3・4年度には特別教室へのエアコンやクーラーの整備が行われています。	教育長	体育館の冷房設置について、国は2031年度までに設置する目標を掲げています。7月の熊本地震でも避難所として課題となっていました。 冷房設備は、児童生徒の学習・運動環境を改善するだけでなく、熱中症対策にも関係します。また、球美中学校体育館は本町が指定する避難所となっており、災害時には長時間滞在が想定されます。 冷房設置には体育館の空調と断熱を一体的な環境改善として進めることが、これからの学校施設整備では重要となります。文部科学省の支援制度を有効活用し整備に向けて取り組むことが、学習環境と防災機能の両立を実現するものだと思います。 課題としては、本町には８つの学校体育館があります。それに加え、全ての学校で校舎の老朽化が著しく、限られた町の財源で何を優先すべきか、優先順位を付けて取り組む必要があります。 球美中学校体育館については、昨年度に長年の懸念事項であった体育館の雨漏り解消のための工事を行ったところであり、断熱性も考慮したところです。町内の学校では、他にも空調設備を整備していない教室もありますので、整備に係る費用や今後の町の財政負担も踏まえ、冷房設備の設置に向けて実現できるよう努めたいと思います。	教育課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			しかし、体育館は教室よりも広いため、常設空調を設置するには断熱や電源設備なども必要となり、費用が大きくなることが課題です。 同じ離島自治体である和泊町では、中学校体育館を優先し、設計と工事を年度ごとに分けて段階的に進める計画が示されています。このことから、久米島町でも、すぐに工事を始めることが難しい場合でも、まず必要な調査や設計を行い、空調整備までの具体的な計画を立てることが重要だと考えました。 そこで私は、球美中学校体育館への常設空調の設置を実現するため、まず令和9年度に断熱性能、電源容量、必要な空調設備、概算事業費などを調査し、国の体育館空調に関する支援制度の対象となるかを確認した上で、設計に進むことを提案します。そして、設置年度を明らかにし、完成までの間に必要な暑さ対策も含めた整備計画を作ってほしいです。これにより、生徒の体育の授業や部活動での熱中症のリスクを減らし、安全に学校生活を送れるようになることが期待できます。また、体育館は指定避難所でもあるため、将来的に空調が整備されれば、災害時に避難する町民の暑さ対策や安全の確保にもつながると考えます。 以上を踏まえ、久米島町として、令和9年度に球美中学校体育館の断熱性能、電源容量、概算事業費などを調査し、国の支援制度の対象となるかを確認した上で、常設空調の整備年度と完成までの暑さ対策を示す計画を作る考えはありますか。また、学校や地域と協力して、この取組を進めていく考えはありますか。			

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			（再質問） 　先ほどの答弁では、体育館への冷房設備の設置について、費用や今後の財政負担を考慮しながら、実現できるよう努力するとのことでした。しかし、私が質問したのは、冷房設備の設置に向けて努力するかどうかだけではありません。生徒や災害時に避難する町民の命と健康を守るため、冷房設備の設置を前提として、設置が完了するまでの具体的な暑さ対策を講じること、そして、設置までのスケジュールを明確にした整備計画を作成する意思があるかということです。 　体育館は、夏の体育の授業や部活動で生徒が利用する場所であると同時に、災害時には町民の避難場所にもなります。だからこそ、費用面の課題があるとしても、設置時期を明確にしないまま、実現に向けて努力するという答弁だけでは、安全を守るための対応として十分なのか疑問が残ります。 　そこで、改めて伺います。 　久米島町として、球美中学校体育館への冷房設備の設置を前提に、設置が終わるまでの具体的な暑さ対策を行い、設置までの見通しを示した計画を作る考えはありますでしょうか。 　町のお考えをお聞かせください。		現時点で、令和９年度に実施する計画はありません。また、災害時の避難所としての施設活用については、災害の規模や被災状況によりどの施設を活用するか判断することになります。避難所としてはトイレや家族プライバシーへの配慮など多くの課題があると思っています。 　空調設備整備についても、避難所施設となった場合の課題として引き続き取り組んでまいりますが、体育の授業中の暑さ対策として、スポットクーラーや、移動式エアコンなど少人数で利用する場合なども想定し、検討していきます。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	木下　さら	ラーケーションについて	ラーケーションの導入について質問します。琉球新報の記事でラーケーションについて知りました。沖縄県では平日に保護者と子どもが一緒に休暇を取得し、家族で過ごす時間を確保しながら自主的な学びを得ることを目的として、すでに１５市町村がラーケーションを導入、１０市町村が導入検討しているようです。私は毎年用事でゴールデンウィークに家族で東京に行っています。用事が終わった後も両親ともう少し過ごす期間があればとても嬉しいです。久米島町内の幼・小・中にもラーケーションの導入の予定はありますか。	教育長	ラーケーションは、保護者が週休日等に仕事をしている家庭においても、子ども達が自ら考え、企画し、保護者の休みに合わせて、一緒に体験や探究の学びを行えるものであり、ワークライフバランスの推進や、子育てしやすい環境づくりの観点から、一定の役割はあるものと考えております。 　一方で、様々な家庭の事情により、ラーケーションの制度を活用できる子どもとできない子どもが混在し、家庭の状況により不平等が生じたり、ラーケーションを利用した日数分、子どもの学習に遅れが生じたりするなどの課題も指摘されています。 　特に「ラーニング」と「バケーション」の中身を両立させることが肝要であると考えます。 　このようなことから、現段階で本町においてラーケーション制度の導入は予定しておりませんが、今後、他の自治体における取組状況なども参考にしながら、必要に応じて検討したいと考えています。	教育課

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			（再質問） 　ご回答ありがとうございます。ラーケーション制度により授業などに遅れが出てしまうといった懸念点も承知しておりますが、私たちの住む久米島だからこそ、ラーケーション制度が生きると考えます。 　久米島は離島のため、本島や県外へ移動するだけでも時間がかかります。土日だけの短い時間では移動に大半の時間を使ってしまい、現地でじっくり学びや体験の時間を取ることができません。もし、ラーケーション制度があれば移動時間にゆとりを持ち、自分たちの住む沖縄とは違う地域に行ってその土地の歴史や文化、多様な暮らしを実際に自分の目で見て、体験して学ぶことができます。これは、島の中にいるだけでは得られないとても貴重な学びになります。授業の遅れについてはタブレットなどを活用して自習で補う仕組みを作るなどの工夫で遅れを取り戻すことができると思います。家庭の状況のため、なかなか家族でまとまった時間を過ごすことが難しい家庭には、久米島町内で体験できる機会を作ったり、子どもに限り補償などをしてもらったりして家族で過ごす時間を確保できると考えます。		ラーケーション制度については、ご質問のとおりどのご家庭でも活用していただくための制度にしたいと考えています。学校との両立が可能となるようなラーケーション制度の導入に向けて前向きに検討してまいります。	

令和８年　第８回　久米島町子ども議会　一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			令和８年１月２２日（木）～３月１３日（金）の間に沖縄県が実施した「県立学校家族休暇制度」保護者アンケートの結果を見ると、約９，０００人の回答の内、県外渡航のための利用者が最も多かったのですが約２，０００人は県内での宿泊や美術館などに行くのにラーケーションを活用していました。久米島町内でも宿泊したり、久米島ならではの体験ができたらより久米島町のことを知ることができ、家族での大切な時間を過ごせると思います。高校への進学でも私を含め約半数が島外への進学を考えているようです。そのため、今、久米島のことを知る機会や家族で過ごす時間が１日でも長くあると嬉しいです。 離島の子どもたちにこそ必要な「生きた学びの機会」をつくるために前向きなご検討をお願いします。			